



ゲンタ君

もしも災害が起きそうなとき、どこに避難すればいいの？

せま 迫り来る災害の危険から逃れるために市区町村が指定した指定緊急避難場所というところがあるんじゃない？



マップ博士

みなさんは大雨で近くの川があふれそうなときや、近くの山が崩れそうなときにどういった行動をとりますか？急いで安全な場所に避難をしなくては、と考えると思います。でも、どこに避難をすれば安全なのでしょう？

みなさんが住んでいるまちでは、洪水や土砂災害、津波といった災害の種類ごとに、地域の人たちが災害の危険から命を守るために緊急的に避難をするための施設や場所である「指定緊急避難場所」をあらかじめ決めています。

平成23年に発生した東日本大震災では、迫り来る災害の危険から逃れるための場所と、その後の避難生活をおくる場所がはっきり区別されておらず、また災害の種類ごとに避難場所が決められていませんでした。そのため、災害発生直後に避難場所に行ったにもかかわらず、その施設に津波が押し寄せ、多くの人たちが亡くなるということがありました。指定緊急避難場所はこのことから考えられたものです。

では指定緊急避難場所は一体どこにあるのでしょうか？

国土地理院のウェブ地図「地理院地図」を使えば、全国にある指定緊急避難場所の位置などを簡単に調べることができます。また、空中写真やデジタル標高地形図など、防災に役立つさまざまな情報と重ね合わせて見ることもできます。

自然災害による被害を少なくするためには、一人ひとりが自分の安全を守るために普段から災害に備えることが大切です。

地理院地図やハザードマップを見て、身のまわりの災害の危険性や、危険が迫ったときに避難をする場所をあらかじめ確認しておきましょう。

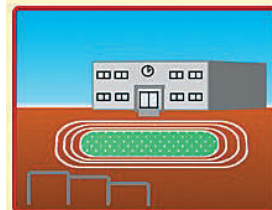
<http://www.gsi.go.jp/bousaichiri/hinanbasho.html>

【指定緊急避難場所のイメージ】



例) 鉄筋コンクリート作りの学校やビル

土砂災害や洪水や津波など、たとえ災害にあったとしても、2階や3階など上層階へ避難できる、がんじょうな建物



例) 学校のグラウンド、大きな駐車場、大きな公園

地震や大きな火災にあったとしても、危険がおよばない大きな広場



災害の種類ごとに表示

(応用地理部)